

# JIS

## 自動車用タイヤ

JIS D 4230 : 1998

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 10 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS D 4230-1986は改正され、この規格に置き換えられる。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 33. 3. 3 改正：平成 10. 1. 20

官 報 公 示：平成 10. 1. 20

原案作成協力者：社団法人 日本自動車タイヤ協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 自動車用タイヤ

D 4230 : 1998

## Automobile tyres

**序文** この規格は、国際規格—1989年に第3版として発行された**ISO 4223-1**(Definitions of some terms used in the tyre industry—Part 1: Pneumatic tyres)とAmendment 1(1992年), 1995年に第2版として発行された**ISO 10191**(Passenger car tyres—Verifying tyre capabilities—Laboratory test methods)及び1993年に初版として発行された**ISO 10454**(Truck and bus tyres—Verifying tyre capabilities—Laboratory test methods)—と対応する部分(用語の定義, 性能, 試験方法)については、国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目(種類及び寸法, 外観, 表示要件)及び規定内容(高速性能試験B)を日本工業規格として追加している。

なお、国際規格で規定している強化タイヤ(Reinforced/Extra load)は、日本工業規格には採用していない。

**1. 適用範囲** この規格は、新品の自動車用タイヤ(以下、タイヤという。)について規定する。ただし、二輪自動車用タイヤ、農業機械用タイヤ、産業車両用タイヤ及び建設車両用タイヤには適用しない。

**備考1.** この規格の引用規格を、次に示す。

JIS D 4202 自動車用タイヤ—呼び方及び諸元

2. この規格の中で{ }内に示す単位及び数値は、従来単位による参考値である。

**2. 用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- (1) **バイアスプライタイヤ** トレッドセンターインに対し、斜めの角度で交差するプライコード構造をもつ空気入りタイヤ。ダイアゴナルプライタイヤともいう。
- (2) **ラジアルプライタイヤ** トレッドセンターインに対し、実質的に90°の角度で配置されたプライコード構造をもち、ベルトによって緊縛された空気入りタイヤ。
- (3) **トレッド** タイヤの接地部分のゴム層。
- (4) **ビード** タイヤとリムとのかん合部分。
- (5) **サイドウォール** トレッドとビード間部分のゴム層。
- (6) **コード** プライ、カーカス、ベルト及びブレーカーを構成する纖維線又は金属線。
- (7) **プライ** ゴムに覆われた平行なコード層。
- (8) **カーカス** ビード部どうしを結合し、タイヤの骨格を形成するコード層。
- (9) **ベルト** トレッドセンターインに対し、実質的に平行でカーカスを緊縛する機能をもつトレッドとカーカス間のコード層。
- (10) **ブレーカー** バイアスタイヤのトレッドとカーカス間のコード層。
- (11) **インナーライナー** チューブレスタイヤの空気圧保持のため、カーカスの内側に張り付けられたゴム層。
- (12) **プライレーティング(PR)** タイヤの強度を示す指数。
- (13) **最大負荷能力** 規定の条件下でタイヤに負荷させることが可能な最大の質量。
- (14) **負荷能力指数(LI)** タイヤの最大負荷能力を示す指数(付表1参照)。
- (15) **最高速度** 規定の条件下でタイヤを走行させることができ最高の速度。